

令和9(2027)年度 日本体育大学大学院 身体総合学術研究科 身体総合学術専攻 博士後期課程 学生募集要項

救急災害医療学学位プログラム

本研究科入学試験の出願手続きはインターネット出願（以下、Web 出願という。）となります。

出願前には、マイページ登録が必要です。時間には余裕を持って出願を行ってください。

なお、Web 出願時に登録されたメールアドレスには、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので、変更や削除の可能性がなく、日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

◇不測の事態が発生した場合の諸連絡

不測の事態により入学試験要項の記載内容に変更が生じた場合は、本学のホームページにより周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

その他の入試に関する最新情報についても公表しますので、随時確認してください。

日本体育大学

目 次

I. 身体総合学術専攻 救急災害医療学学位プログラム 博士後期課程について	
1. 人材養成その他教育研究上の目的	3
2. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	3
3. 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	3
4. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	4
II. 受験要領	
1. 募集人員	4
2. 出願資格	4
3. 入学試験日程等	5
4. 選抜区分及び出願要件	5
5. 出願書類	6
在留外国人の方・外国の学校出身の方へ	7
6. 外国籍を有する者の出願書類について	8
7. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	8
8. 出願手続	9
9. 受験票について	9
10. 選抜要領	10
11. 受験上の注意	10
12. 合格発表	11
13. 入学手続	12
14. 学 費	12
15. 出願前の個別審査が必要な方へ 《出願資格認定審査について》	13
III. 2027 年度 研究指導担当教員及び研究指導領域【博士後期課程】	15
〔博士後期課程〕 研究指導教員一覧表（研究指導補助教員を含む）	19

《Web 出願の流れ、出願写真に関する注意事項》・・・・・・・・・・・・・・・・（巻末）

《各種様式・所定用紙》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（別添）

博士後期課程提出用紙

「履歴書」、「研究業績一覧」、「志望理由及び研究計画書」、「承諾書」、「在職証明書」、「外国人入学願書」、
「研究指導教員推薦書」、「入学試験に係る事前相談について」

出願資格認定審査申請書類

「出願資格認定審査申請書」、「履歴書」、「志望理由及び研究計画書」、「研究歴・指導歴概要書」

出願者の提出書類について

出願にあたってお知らせいただいた個人情報、入学試験及び入学後の学内諸手続以外の目的には利用いたしません。

※ I 期試験と II 期試験を受験する場合は、それぞれに願書が必要です。

I. 身体総合学術専攻 救急災害医療学学位プログラム 博士後期課程について

1. 人材養成その他教育研究上の目的

災害・救急領域の学際的視点と臨床知見を結び付けることで、高度な専門性と総合的理解力を養う。さらに、国際的な救急・災害医療体制の違いを踏まえた対応力や比較分析力を涵養し、研究課題の設定から実証的検討、論文作成までの研究遂行力を重視する。また、学会発表を通じてプレゼンテーション能力や科学的コミュニケーション力を高めるとともに、教育者としての指導力と課題解決力の育成も図る。

本プログラムでは、災害・救急領域の学際的視点と臨床知見を結び付けることで、高度な専門性と総合的理解力を養う。さらに、国際的な救急・災害医療体制の違いを踏まえた対応力や比較分析力を涵養し、研究課題の設定から実証的検討、論文作成までの研究遂行力を重視する。また、研究成果を学会や論文で発信する過程を通じて、プレゼンテーション能力や科学的コミュニケーション力を高めるとともに、教育者としての指導力と課題解決力の育成も図る。

2. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学大学院学則及び関連規程に規定する修了の要件を充足した上で、次の知識・能力を有することが認定されたものに博士（救急災害医療学）の学位を授与する。

《知識・理解》

[DP1] 学際的知識

身体に関する学際的視点（体育学・教育学・保健医療学）に基づいた幅広い知識を有する。

[DP2] 専門的知識

救急災害医療学に関する高度な専門的知識を修得し、最新の研究動向を理解している。

[DP3] 倫理観

独立した研究者として必要な倫理的知識と倫理観を備え、社会的責任を十分に理解している。

[DP4] 国際性

救急災害医療学に関する知見を国際的視野から捉え、国際的な学術動向を把握している。

《専門的能力・汎用的能力》

[DP5] 研究遂行力

自ら研究課題を主体的に設定し、独立して高度な研究計画を立案・実施できる。研究の各プロセスを統括し、独創的かつ発展的な研究成果を創出できる。

[DP6] 論理的思考力

複雑な研究課題や成果を多角的かつ批判的に分析し、論理的・体系的にまとめる力を有し、独自性・学術的妥当性を追求し、論文執筆や発表において高度な論理展開力を発揮できる。

[DP7] 発信力・表現力

専門知識や研究成果を的確かつ分かりやすく構成し、多様な場面で自立して表現・伝達できる。

3. 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を達成するため、「大学院共通科目」「保健医療学研究群専門科目」「保健医療学研究群研究指導科目」により体系的に教育課程を編成している。

[CP1] 体育学、教育学、保健医療学など身体に関する学際的領域を基盤としつつ、各専門分野の最新の研究動向を理解し、自らの研究領域を深化させるため、「大学院共通科目」を配置し「身体総合学術特論」を置く。

《DP に掲げる知識・能力》学際的知識・専門的知識・倫理観

[CP2] 救急災害医療およびスポーツ救急領域における高度専門知と研究遂行能力を深化させるため、「専門科目」を配置し、救急災害医療学特講、スポーツ救急特講、救急災害医療学演習、国際救急・災害システム演習を配置し、最新知見と実践的学修を体系的に学ぶ。これらを通じて、最新知見の批判的理解、適切な研究設計、倫理的判断を含む学術的基盤を強化するとともに、国内外の医療・災害対応に関する実地学修を通じ、多角的かつ国際的視野から課題を探究する力を育成する。最終的に、自立した研究者として高度な専門性と独創的研究を発展させる能力を培う。

《DP に掲げる知識・能力》専門的知識・国際性・研究遂行力

[CP3] 指導教員のもとで、研究計画の立案から分析、論文執筆、成果発表に至る一連のプロセスを実践的に遂行することで、研究遂行力・論理的思考力・発信力・倫理観を総合的に育成するため、「救急災害医療学特別研究Ⅰ～Ⅲ」を配置する。

《DP に掲げる知識・能力》研究遂行力・論理的思考力・発信力・表現力・倫理観

4. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

救急災害医療学学位プログラムの教育目的を達成するために、以下の資質を有する学生を求めます。

[AP1] 救急災害医療学において、修士課程修了相当の高度な専門的知識と研究技能を有する者。

[AP2] 救急災害医療における実践者、研究者、啓発者などを志し、将来、国内外で積極的に救急災害医療に携わる意欲をもつ者。

[AP3] 救急災害医療学の研究や実践において、独創的な発想と発展性を備え、学術領域の新たな知見や価値の創出に主体的に挑戦する意欲を持つ者。

[AP4] 国際的な研究活動に対応できる基礎的な英語力、またはそれに準ずる語学力を有することが望ましい。

II. 受験要領

1. 募集人員

身体総合学術研究科 身体総合学術専攻

課程	学位プログラム	募集人員 (Ⅰ期募集、Ⅱ期募集あわせて)
博士後期課程	救急災害医療学学位プログラム	2名

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者又は令和9(2027)年3月31日までに授与される見込みの者
- (2) 専門職学位を有する者又は令和9(2027)年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和9(2027)年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和9(2027)年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和9(2027)年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 学校教育法施行規則第156条第4号の規定により、国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和9(2027)年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 学校教育法施行規則第156条第5号の規定による外国の学校等において、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時までには24歳に達する者

※重要

出願資格(8)(9)の該当者は、事前に出願資格認定審査が必要です。13頁で確認し手続きをしてください。出願資格認定審査の申請をして、審査の結果、出願資格が認定された者は本研究科の入学試験に出願することができます。

3. 入学試験日程等

出願期間 (Web出願登録、出願書類受付期間) ※期間内消印有効	I期試験 一般、社会人選抜	II期試験 一般、社会人、内部進学選抜
		2026年10月2日(金) ～2026年10月9日(金)
試験日	2026年11月7日(土)	2027年2月6日(土)
合格発表日	2026年11月13日(金)	2027年2月12日(金)
入学手続締切日	2026年11月27日(金)	2027年2月26日(金)

4. 選抜区分及び出願要件

選抜区分	出願要件
一般選抜	「2.出願資格」に該当する者
社会人選抜	「2.出願資格」に該当し、且つ以下の(1)、(2)のいずれかに該当する者 (1)入学時に27歳に達する者で、有職者として3年以上の経験年数を有する者 (2)青年海外協力隊等で海外における社会貢献活動の経験が入学時に原則として2年以上ある者
内部進学選抜 (II期のみ)	令和8(2026)年度本学大学院保健医療学研究科修士課程修了見込みの者で、身体総合学術研究科博士後期課程の同じ分野の学位プログラムへ出願する者 保健医療学研究科保健医療学専攻 身体総合学術研究科身体総合学術専攻 修士課程 博士後期課程 救急災害医療学コース ⇒ 救急災害医療学学位プログラム

※出願資格(8)、(9)の該当者は、事前に出願資格認定審査の申請をして、審査の結果、出願資格が認定された場合に一般選抜にて出願することができます。

5. 出願書類

出願書類のうち所定用紙となっているものは、別添《各種様式・所定用紙》から印刷して作成してください。

※提出する各種証明書の記載氏名が出願時の氏名と異なる場合は、氏名変更が確認できる戸籍抄本等の書類もあわせて提出してください。

●：全員提出 △：該当者のみ提出

(注意：提出書類について) 提出書類のサイズは全て「A4 サイズ：片面印刷」で提出してください。		提出該当者		
		一般選抜	社会人選抜	内部進学選抜
出願書類	連絡事項・注意事項			
(1)志願票・写真票	Web 出願完了後、Web 出願サイトより印刷してください。 余白および志願票・写真票は切り離してください。	●	●	●
(2)履歴書（所定用紙）	「学歴」欄は高等学校から記入してください。但し、外国の学校教育を受けたことがある者は小学校から記入してください。 大学、研究所等で研究生等として研究歴がある場合は、その期間も記入してください。	●	●	●
(3)研究業績一覧（様式） 自身の代表的な論文（コピー可）を3編まで添付すること	<ul style="list-style-type: none"> 様式については、同様のものをパソコン等で作成したもので可とする。 著書、学術論文、翻訳、学会発表等を「著書」・「学術論文」・「その他」に区分し、それぞれの業績を年代順に記載してください。また、「学位論文」（修士論文または博士論文）は最後に記載してください。 概要欄は、論文、著書等ごとに200字程度で記入してください。共著の場合は担当部分及びページ数を明記し、全員の氏名を記載し、本人氏名に下線を引いてください。なお、共著の場合で本人の担当部分を明確にできないときはその理由を明記してください。（例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能） 学会誌、雑誌等はその名称の他、巻・号まで記入してください。 学会誌等に投稿予定のものは含めないでください。 記入欄が不足した場合は同一様式の別紙に記入し添付してください。 本研究科における研究計画の内容と特にかかわりのある「著書」、「学術論文」、「翻訳」、「学会発表の要旨」等がある場合は、それらを証明できる資料（コピー可）を添付してください。掲載予定のものについては、掲載証明書を添付してください。 「学位論文」（修士論文または博士論文）（コピー可）を添付してください。 修士論文などを現在執筆中の者においては、その概要を示す「要旨」及び「抄録」のいずれかを提出してください。 	●	●	●
(4)志望理由及び研究計画書（所定用紙）	<p>必ず希望する研究指導教員と履修・研究等について相談し、指導の同意を得てください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「2027年度研究指導担当教員及び研究指導領域」、「〔博士後期課程〕研究指導教員一覧表（研究指導補助教員を含む）」参照。 	●	●	●
(5)修士課程(博士前期課程)学業成績証明書	出身大学長が作成したもの。	●	●	●
(6)修士課程(博士前期課程)修了(見込)証明書	出身大学長が作成したもの。	●	●	●
(7)承諾書（所定用紙）	入学後に在職予定の者は、雇用責任者または代表者の承諾書を提出してください。個人事業主の場合は不要。	△	△	△

<p>(8)在職証明書（所定用紙） または派遣証明書</p> <p>※所定用紙と同内容であれば、所属機関が発行したもので可。</p>	<p>現在在職中で【社会人選抜】で出願する者 出願要件を満たすことを証明できる在職証明書または派遣証明書を提出ください。但し、ご事情により在職証明書が提出できない場合は、第3者の証明による書面等をご提出頂くことでも構いません。在職証明書以外の第3者の証明による書面は、例えばハローワークで発行される雇用保険受給資格者証や、勤務先における健康保険証に記載の雇用開始日（資格取得年月日）により期間を確認することができますので、こちらのコピーを在職証明書の代わりに提出することも可能とします。</p>		●	
<p>(9)外国籍を有する者の出願書類</p>	<p>外国籍を有する者は、出願書類の他に、以下の書類を提出してください。 現に日本国内に在住し、在留資格が「特別永住者」、「永住者」の者は①住民票の写しまたは住民票記載事項証明書のみ提出。</p> <p>①住民票の写しまたは住民票記載事項証明書（3か月以内に発行されたもので、国籍、在留資格、在留期間を明記したもの） ②在留カードの写し ③パスポートの氏名・生年月日が記載されたページの写し ④外国人入学願書（所定用紙）</p>	△	△	△
<p>(10)推薦状：提出任意 （書式自由）</p>	<p>提出は任意とします。書式は自由とし、1600文字程度で作成してください。 ※ 推薦状は「任意提出」であり、提出有無による合否判定に影響するものではありませんので予めご承知おきください。</p>	任意	任意	
<p>(11)研究指導教員推薦書 （所定用紙）</p>	<p>研究指導担当予定教員からの推薦書</p>			●

在留外国人の方・外国の学校出身の方へ

★ 在留外国人の方は、必ず確認してください。

最終学歴の各種証明書について

日本国外（中国を除く）の大学・大学院を卒業・修了した方

卒業・修了証明書等に取得学位の記載がない場合には、学位取得証明書も提出してください。

中国の学校を卒業または修了した方は、「中国の学校を卒業・修了された方へ」に記載されている通りに書類を提出してください。

最終学歴の各種証明書は、原則として日本語または英語で表記された原本に限ります。

日本語または英語以外の言語で表記されている場合は以下の書類を提出してください。

<p>各種証明書の原本※</p>	<p>出身学校から発行されたもの。 出身学校から1部しか発行されない場合は、公的機関が発行する Certified true copy でも構いません。</p>
<p>日本語または英語翻訳文※</p>	<p>大使館や自国公証処等の公的機関で認証を受けたものに限る。</p>

※日本語教育機関（日本語学校等）が発行・認証するものは認めません。

中国の学校を卒業・修了された方へ

中国の学校を卒業・修了された方は、以下の書類を提出してください。

証明書類の入手に時間を要することが想定されます（申請から発行まで5週間程度かかる場合もあります）ので、早めに準備をしてください。

(1) 卒業証書・卒業証明書「学歴認証書」 (Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate)

CHSI (中国高等教育学生信息网) が発行し、英文で記載されたもの。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate を提出する場合は下記の注意をよく読んで手続きしてください。

(2) 成績証明書「成績認証書」 (Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript)

CHSI (中国高等教育学生信息网) が発行し、英文で記載されたもの。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript を提出する場合は下記の注意事項をよく読んで手続きしてください。

(3) 学位取得証明書「学位認証書」 (Verification Report of China Higher Education Degree Certificate)

CHSI (中国高等教育学生信息网) が発行し、英文で記載されたもの。

修士課程を受験する方は、学士学位 (Bachelor's Degree) を取得していることが証明されていること。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Degree Certificate を提出する場合は下記の注意をよく読んで手続きしてください。

学歴、成績、学位の認証書は CHSI 中国高等教育学生信息网 (<https://www.chsi.com.cn/en/pvr/>) が取り扱っています。

日本国内では CHSI 日本代理機構 (<http://www.chsi.jp/>) での発行申請が可能です。

※1 電子データの認証書を提出する場合は、出願期間内に CSSD 教育部学生服务与素质发展中心から直接、日本体育大学大学院教学センター (daigakuin@nittai.ac.jp) に電子メールで送信されるように申請してください。

志願者による電子メールの転送は出願書類として認めません。出願期間を過ぎた場合は出願を受理しないことがありますので、気をつけて手続きをしてください。

6. 外国籍を有する者の出願書類について

外国籍を有する者は、「5. 出願書類」を確認し、所定用紙を提出してください。

なお、本学では保証人は出願時には必要としませんが、入学手続時に保証人を定めて届けることとしています。

保証人は日本国籍を有する成年であって、日本国内に居住し独立の生計を営む者として、日本国籍を有する二重国籍者は提出不要です。

7. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

けが及び障がい等により受験時または入学後の配慮を希望する場合は、下記《事前相談の方法》を確認し、必ず事前相談をしてください。

なお、重度の障がいのある方は、できる限り早い時期にご相談ください。

《事前相談の方法》

事前相談の申請は、「申請書類」の「入学試験に係る事前相談について」を作成の上、医師の診断書などの必要な書類を添付して提出してください。

※ 提供いただいた個人情報、支援内容検討のために関係部署と共有します。

なお、必要な書類に不明な点がある場合は、提出前に大学院教学センターに確認してください。

申請書類

- (1) 「入学試験に係る事前相談について」(所定用紙)
- (2) 医師の診断書(原本又は写し)
- (3) 身体障害者手帳(氏名・障がい名の頁の写し)(所持者)
- (4) その他相談する際に必要と考えられる参考資料

8. 出願手続

「Web 出願の流れ」を確認して手続きしてください。出願は Web 出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web 出願は 24 時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日 23 時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで（営業時間はコンビニエンスストアや ATM など、施設によって異なります）、必要書類の郵送は出願期間内消印有効です。

(1) 入学検定料の支払い

入学検定料：1 受験につき 35,000 円

(注) 本学大学院保健医療学研究科修士課程修了見込みの者で、

内部進学選抜区分出願者の場合は、入学検定料 5,000 円

※Web 出願サイト「STEP 5（入学検定料の支払い）」に従って支払手続きをしてください。

(2) 出願書類の郵送

書類の郵送：出願期間内消印有効

Web 出願完了後に、Web 出願サイトより宛名シートを印刷し、貼付した角 2 封筒に提出書類を封入して、「速達・特定記録郵便」で郵送してください。「特定記録郵便物等受領証」は保管しておいてください。なお、窓口での出願受付は行っていません。詳細については、「STEP 6（必要書類の郵送）」を確認してください。

① 志願票・写真票

入学検定料支払後、出力可能となります。A4 サイズで印刷し、切り取り線に沿って切り取ってください。

② 選抜毎の提出書類

詳細は、各選抜の提出書類を確認してください。

◎注意事項

① 不備のある出願書類や出願締切日後に到着した出願書類は一切受け付けません。

② 一度提出した出願書類及び支払われた入学検定料は一切返還しません。

【入学検定料の返還請求（払込手数料を除く）ができる場合】

・入学検定料を支払ったが、本学に出願書類を発送しなかった。または出願書類が受理されなかった。

・入学検定料を誤って二重に支払った。

③ 提出書類の内容に虚偽があった場合は、出願や合格を取り消すことがあります。

9. 受験票について

出願書類到着後、Web 出願の登録内容をもとに本学が作成し、Web 出願サイトよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください。「STEP 7（受験票の印刷）」を参照のこと。

※ 受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

※ 試験 3 日前までに Web 出願サイト上に受験票が確認できない場合、大学院教学センターまで連絡してください。

10. 選抜要領

〔試験実施日〕

I 期試験：2026 年 11 月 7 日（土） 東京・世田谷キャンパス 教育研究棟

II 期試験：2027 年 2 月 6 日（土） 東京・世田谷キャンパス 教育研究棟

選抜区分	受付時間	試験時間	試験科目	実施要領等
一般選抜 社会人選抜	8:30～9:00	9:30～10:30	専門科目 (英語含む) (60分)	・当該分野の専門的知識を問う。 ・当該分野に関する英文の読解力及びそれに基づく考察力を問う。
		11:00～	口述試験	【一般選抜】出願書類に基づき、研究課題や入学後の研究計画等について日本語で問う。 【社会人選抜】出願書類に基づき、研究課題やこれまでの研究経過（職務経験を含む）及び入学後の研究計画等について日本語で問う。
内部進学選抜 (II 期のみ)			書類審査	出願提出書類の内容にて審査する。 ・履歴書 ・研究業績一覧 ・志望理由及び研究計画書 ・修士課程学業成績証明書 ・修士学位論文要旨 ・研究指導教員推薦書

11. 受験上の注意

(1) 試験当日の注意事項

① 持参するものについて

「受験票」、「筆記用具」、「時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものを除く)」、「昼食・飲み物」(任意)

※受験票を紛失または忘れた場合は、試験当日、受付に申し出てください。

- ② 受付で受験票を提示してください。受付後は、速やかに指定された試験場へ入室してください。また、受付後に担当者の許可無くキャンパス内を出歩くことはできません。なお、試験終了までキャンパス内から出ることはできません。
- ③ 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験場に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、すべての試験が終了するまでかばん等にしまってください。
- ④ 車での来学はできません。公共交通機関をご利用ください。
試験前日までに可能な限り試験場までの道順、所要時間等を実際に確認しておいてください。
- ⑤ 試験開始後 30 分を超えた遅刻は認めません。
- ⑥ 公共交通機関の事故等により、受付時間に間に合わない場合は、直ちに大学院教学センター（03-5706-0915）へ連絡するとともに、交通機関において遅延証明書の交付を受けてください。
- ⑦ インフルエンザ等の感染症にかかり治癒していない者は、他の受験生に感染するおそれがあるため受験はできません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

(2) 試験時間中の注意事項

- ① 「受験票」は、試験担当者が見やすいように机の上に置いてください。
- ② 「受験票」の他に試験時間中、机の上に置けるものは、以下とします。
 - ・ 黒鉛筆 (HB)、シャープペンシル (HB)
 - ・ 鉛筆キャップ

- ・ プラスチック製消しゴム
- ・ 鉛筆削り（電動式・ナイフ類を除く）
- ・ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものを除く）
- ・ 眼鏡
- ・ ハンカチ
- ・ ティッシュペーパー（袋または箱から取り出した紙のみであること）
- ・ 目薬

※ 専門科目（英語含む）試験時は語学辞書の使用が可能です。なお、使用可能な辞書とは、「英和辞書」、「中日辞書」、「韓日辞書」等の語学辞書に限ります。電子辞書、電子手帳等は使用できません。また、医学等専門用語の語学辞書は使用できません。（付箋等は予め取り除いてください。）

- ③ 「耳せん」は、試験担当者の指示等が聞き取れないことがありますので試験場内では使用できません。
- ④ 試験時間中に退室はできません。体調不良またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験担当者の指示に従ってください。但し、一時退室が認められた場合でも、一時退室した間の試験時間の延長はできません。また、別室での受験もできません。
- ⑤ 試験時間中は、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為となることがあります。

12. 合格発表

I期試験：2026年11月13日（金）10時

II期試験：2027年2月12日（金）10時

合格発表は合格者のみ通知します。学内掲示は行いません。本学の正式な合格発表は、合格発表日に合格証明書等の発送をもって行いますが、受験生の便宜を考慮し、「合否照会システム（インターネット）」による合否案内を行います。

なお、不合格通知書は送付いたしません。また、本学に直接連絡をしても合否に関わるお問い合わせは一切受け付けませんので、下記照会方法をご確認ください。

（1）利用方法・注意点

- ① インターネット、スマートフォン及び携帯電話で利用できます。
- ② 合否照会について、「誤操作」及び「見間違い」を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- ③ 合否発表当日は混雑のため回線がつながりにくいことがあります。その場合は、少し時間をおいてアクセスしてください。
- ④ 合否照会システムの利用期間は次のとおりです。

合否照会システム利用期間		
I期試験	2026年11月13日（金）～2026年11月27日（金）	初日10:00～
II期試験	2027年2月12日（金）～2027年2月26日（金）	最終日23:59まで

（2）インターネット（携帯電話・パソコン）での照会

<https://www.gouhi.com/nittai/>



合否照会システム利用期間内に上記アドレスへアクセスし、画面の指示に従って操作してください。

また、本学ホームページ（<https://www.nittai.ac.jp/>）より、上記アドレスへアクセスできますので、ご利用ください。

13. 入学手続

(1) 入学手続時納入金の手続締切日

I 期試験：2026 年 11 月 27 日（金）

II 期試験：2027 年 2 月 26 日（金）

- ① 入学手続時納入金は、合格証明書に同封されている所定の「振込用紙」を使用し、手続締切日までに金融機関窓口で手続きを行ってください。
- ② 合格者で手続締切日までに入学手続時納入金が未納だった場合は、入学辞退とみなしますので注意してください。
- ③ 振込金受領書（本人保存）は、入学手続きをした証明になりますので大切に保管してください。

(2) 入学辞退について

【窓口】 2027 年 3 月 31 日（水） 17：00 まで

【郵送】 2027 年 3 月 31 日（水） 消印有効（速達・特定記録郵便としてください。）

入学手続時納入金を振込み後、入学を辞退する場合は、上記期限までに入学辞退届（所定用紙）を提出してください。入学金を除く納入金を返還します。なお、返還には期間を要しますので、早急に手続きをしてください。

○提出先：日本体育大学 大学院教学センター

〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1

TEL 03-5706-0915

事務取扱時間：平日 8:30 ～ 17:00

冬季一斉休業期間：2026 年 12 月 26 日（土）～ 2027 年 1 月 5 日（火）

14. 学 費

授業料及び施設整備費は、全額の 1/2 相当額を後学期に分納することができます。その場合、入学手続時の納入金額は、入学金・授業料（前学期分納分）・施設整備費（前学期分納分）・健康管理費・学友会費・同窓会入会金の合計金額となります。後学期は授業料（後学期分納分）・施設整備費（後学期分納分）のみとなります。

2027 年度 日本体育大学大学院身体総合学術研究科 博士後期課程学費等一覧 (円)

費 目		納入期	金 額			
			日本体育大学以外の卒業生		日本体育大学卒業生	
			前学期	後学期	前学期	後学期
①学 費	入学金	入学時のみ	100,000	—	0	—
	授業料	分納可	350,000	350,000	350,000	350,000
	施設整備費	分納可	50,000	50,000	50,000	50,000
	健康管理費	前学期	10,000	—	10,000	—
②その他費用	学友会費	前学期	13,000 (入会金 1,000 円を含む)	—	12,000	—
	同窓会 入会金	入学時のみ	20,000	—	0	—
総合計 (①+②)		分納の場合	543,000	400,000	422,000	400,000
		一括納入の場合	943,000		822,000	

《寄付金について》

本学では、教育研究環境充実のため、寄付金を募集する場合があります。
但し、いずれも応募は任意で、入学前には募集いたしません。

●「国の教育ローン」(教育貸し付け)について

「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」、「教育の機会均等」という目的のために昭和54年に創設された公的な融資制度です。民間金融機関の補完を旨とする政策金融機関である日本政策金融公庫(日本公庫)が扱っています。

詳しくは教育ローンコールセンター 0570-008656(03-5321-8656)、または「国の教育ローン」で検索、
<https://www.jfc.go.jp/>から「国の教育ローン」を選択してください。

15. 出願前の個別審査が必要な方へ

《出願資格認定審査について》

本学大学院研究科では、「学校教育施行規則第155条第1項第8号の規定」により、「出願資格(8)、(9)」に該当する出願資格認定対象となる方について、出願資格の有無を判定するために予備審査を行います。

「出願資格認定審査」は、入学者選抜試験ではありませんので注意してください。

■審査基準

(8) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)

大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時まで24歳に達する者

※「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」とは、①及び②の基準を満たす者とする。

① 研究歴等について《次のいずれかに該当する者》

- a. 大学を卒業後、各種の教育・研究機関等において研究または指導に従事した期間が2年以上ある者
- b. 6年制課程の医学部・歯学部・獣医学部・薬学部を卒業した者

② 研究業績等について《次のいずれかに該当する者》

- a. 著書、学術論文等において、修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績(学会誌に掲載された学術論文等)を有する者
- b. 医師免許・歯科医師免許・獣医師免許・薬剤師免許を有する者

■出願資格認定審査要領

審査を希望する方は、必ず大学院教学センターまで事前相談を済ませた上で申請願います。

出願資格認定審査には下記書類の提出が必要になります。提出期日等を確認の上、お早目にご準備ください。

事前相談を済ませていない場合は申請できません。また、上記条件を満たした方すべてに受験資格が認められるとは限りませんのでご注意ください。

※出願資格認定審査に提出した書類内容に虚偽が発生した場合は、入学試験に合格した場合でも合格の取り消しとなりますので、ご注意願います。

・提出書類

- ① 出願資格認定審査申請書(所定用紙)
- ② 履歴書(所定用紙)
- ③ 研究歴・指導歴概要書(様式)・・・自身の代表的な論文(コピー可)を3編まで添付すること
- ④ 志望理由及び研究計画書(所定用紙)
- ⑤ 出願資格を証明する書類(研究歴、研究業績を証明するもの)

・提出方法

封筒に、「出願資格認定審査書類在中」と朱書きし、必ず「速達・特定記録郵便」で必要な書類を郵送してください。
（「特定記録郵便等受領証」を保管しておいてください。）

・提出先 〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1 日本体育大学 大学院教学センター

・書類提出期限（郵送のみ）

I期試験：2026年9月4日（金）必着

II期試験：2026年12月1日（火）必着

・審査結果 I期：2026年9月11日（金）、II期：2026年12月11日（金）

登録されたメールアドレスに結果をお知らせします。

Ⅲ. 2027年度 研究指導担当教員及び研究指導領域

救急災害医療学学位プログラム 博士後期課程

研究指導担当教員の表記内容		
★★	研究指導教員	研究指導を担当することができる
★	研究指導補助教員	研究指導教員とともに研究指導ができる

【注意事項】

出願前に必ずご自身の希望する研究指導教員と連絡を取り、担当教員とご自身の考えている研究内容を十分にご相談して下さい。事前の連絡を取らずに出願する事がないようにして下さい。

教員検索（大学HP教員情報データベース）	研究者検索（国立研究開発法人科学技術振興機構）
----------------------	-------------------------

救急災害医療学学位プログラム

（専攻・50音順）

教員名	研究指導領域
★ 准教授 阿藤 聡 博士（スポーツ健康科学）	研究分野：トレーニング科学、運動生理学、骨格筋生理学 研究内容のキーワード：レジスタンストレーニング、筋肥大、タンパク質代謝、多核体 運動（筋収縮）による骨格筋の量・機能の可塑性機構、特にレジスタンストレーニング（いわゆる筋トレ）による骨格筋量の改善メカニズムについて分子・細胞レベルで理解することを目指して、実験動物や培養細胞など生物学的実験手法と研究グループが確立した実験動物のレジスタンストレーニングモデルを用いて研究を行っています。また、研究成果をアスリートの競技力向上へ活用することや、加齢に伴う骨格筋量・機能低下（サルコペニア）の改善方法へ応用するための研究についても展開しています。博士課程では研究室で取り扱っているテーマの中で、自身で研究プロジェクトを立案・遂行し、その成果を査読付き学術雑誌に原著論文として公表するプロセスを経験することで、学位取得後にアカデミアや産業界など様々な分野で独立した研究者として活躍するための能力獲得を目指します。
	研究分野：運動生理学、スポーツ医学、栄養学 研究内容のキーワード：筋損傷、筋肥大、末梢神経損傷、サルコペニア、神経筋接合部、筋電気刺激、栄養介入、ケトジェニックダイエット、スポーツ損傷、伸張性収縮、肉離れ、がん悪液質、筋ジストロフィー、代謝、実験動物 損傷、疾患、加齢による運動器機能不全や全身代謝の低下へ対する予防・改善手段（動、栄養介入など）の考案を目的として、実験動物や培養細胞を用いて分子レベルで発生機序や細胞応答を検証します。また研究によって得られる成果は、スポーツ現場や医療現場へ積極的に応用することを目指します。
	研究テーマ ・ 運動誘発性筋損傷による神経損傷の発生機序と病態メカニズムの解明 ・ デュシェンヌ型筋ジストロフィーモデルラットを用いた運動器へ対する効果的な介入方法の検討 ・ 加齢による運動器機能低下へ対する効果的な介入方法の検討 ・ 悪液質による運動器機能低下へ対する効果的な介入方法の検討
★★ 教授 小林 正利 博士（医学）	研究分野：顕微解剖学、健康教育学 研究内容のキーワード：組織化学 エネルギー代謝、健康教育学 動物実験モデルを作製し、解剖学的手法、組織化学的手法を用いて形態学的に健康維持増進、救急医療に係わる因子について探索し検討します。 主な研究内容は ① 骨格筋再生に関わる細胞の相互関係についての3次元解析および組織学的検討 ② エネルギー代謝に関わる因子の組織化学的検討 について行います。

教員名	研究指導領域
<p>★★★ 教授 鈴木 健介 博士（医学）</p>	<p>研究分野：救急医学、災害医学、病院前救急救命学、VR、DX、生成系AI、在宅医療</p> <p>研究内容のキーワード：仮想現実、学校における災害時の対応、学校における緊急時の対応、災害医療ロジスティクス、ファーストレスポnder、データベース、熱中症</p> <p>博士課程では、主に以下の過程を重視し、研究者としての自律できる能力を培う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究倫理を学ぶ ・研究計画を実行する ・統計学的な解析を行う ・学術論文を作成する ・国内外の雑誌に投稿する ・国内外で学会発表を行う <p>病院前救急救命学領域では、ILCORなどのガイドラインに基づく救急蘇生法に関する分野から、Clinical Questionを検討し研究指導を行う。また、国際的な救急システムの違いから比較研究を実施する。欧米だけでなくアジアにおける救急システムの研究を実施する。</p> <p>災害医療学領域では、国内外の災害対応や予防の観点から、Clinical Questionを検討し、研究指導を行う。生成系AIを用いた研究方法にも積極的に取り組む。</p> <p>最新の研究テーマに関しては、Researchmapを参照。 https://researchmap.jp/kensuke0920</p>
<p>★★★ 教授 中里 浩一 博士（学術）</p>	<p>研究分野：運動生理学、骨格筋生理学・生化学</p> <p>研究内容のキーワード：骨格筋、運動神経、細胞外マトリックス</p> <p>加齢や慢性炎症、あるいは筋ジストロフィーなどの筋疾患に伴う骨格筋の萎縮や筋力の低下を骨格筋および運動神経、神経筋接合部、細胞内代謝の変化を通じて理解し、物理療法などによってその予防法の開発を目指す研究、ヒトにおける遺伝子多型を動物にて再現しその評価やメカニズムを解明することを目的とした研究などを主に行なっています。細胞、動物を取り扱うことで分子メカニズムの解明を目指した研究に取り組んでいただきます。</p>
<p>★ 教授 中澤 真弓 修士（健康科学） 修士（防災政策）</p>	<p>研究分野：救急医療・救急医療政策・消防・防災</p> <p>研究内容のキーワード：救急救命士・救急医療・消防・防災・女性活躍</p> <p>救急業務の社会問題解決を目指した救急医療政策及び防災政策についての研究を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 心停止からの社会復帰率向上を目指した救急医療政策研究 ② 救急車の適時・適切な利用、需要対策についての検討 ③ 予防救急、Pre-ambulanceの検討 ④ 救急隊の効果的な活動方策 ⑤ Pre-hospitalにおける女性活躍推進
<p>★ 准教授 成川 憲司 博士（救急災害医療学）</p>	<p>研究分野：救急医療、心肺蘇生、救急車の需要対策、救急救命士の労務環境、医療過疎地域の対応</p> <p>研究内容のキーワード：救急救命士、ファーストレスポnder、心肺蘇生</p> <p>救急領域における課題や問題点の抽出をデータによって示すとともに、研究結果を実装社会にまで落としこみ社会貢献することを目的とする。</p> <p>主に、以下の領域を想定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①心肺停止からの社会復帰率を向上を目的とした <ul style="list-style-type: none"> －教育的観点 －レスポンス時間の短縮 ②地理的観点からの医療格差 ③医療過疎における急性期医療のあり方 ④救急救命士による地域社会への貢献 <ul style="list-style-type: none"> －病院内で働く救急救命士の意義など ⑤スポーツイベントにおけるファーストレスポnderの配置や対策

教員名	研究指導領域
<p>★★★ 教授 橋本 典生 博士（医学）</p>	<p>研究分野：医学</p> <p>研究内容のキーワード：サルコペニア、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、スポーツ喘息、呼吸機能</p> <p>慢性閉塞性肺疾患（COPD）の死亡リスク因子は身体活動性の低下でありサルコペニアが関与している。また、サルコペニアを合併することで呼吸困難感も増悪するため、サルコペニア合併に伴う身体活動性の低下や呼吸機能への影響を詳細に検討することが求められている。臨床研究において患者さんより各種パラメーターを測定することで、身体活動や呼吸機能低下の改善につながるリハビリテーションへと応用して行きたいと考えている。また、スポーツ喘息や熱中症予防に関しても興味を持っている。</p> <p>主な研究内容。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① COPDサルコペニアに対する運動療法の効果 ② 尿中エクソソームを用いたサルコペニアの診断の可能性 ③ 老人施設在住の高齢者の呼吸筋サルコペニアと誤嚥性肺炎の関連 ④ スポーツ喘息と血中のn-3系多価不飽和脂肪酸やn-6系多価不飽和脂肪酸の関連 ⑤ 頸部冷却の熱中症予防の可能性
<p>★ 助教 原田 諭 博士（救急災害医療学）</p>	<p>研究分野：救急災害医療学、病院前救急医療</p> <p>研究内容のキーワード：救急現場活動、防災活動、教育（消防、救急）、Virtual reality</p> <p>救急・災害現場と教育研究を組み合わせ、より安全・確実な救命・防災活動の実現に貢献できるテーマで研究します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①救急現場活動の実態把握と効率化 → 救急現場における判断・対応過程の分析 ②地域防災活動、災害対応力の強化 → 自治体・住民との連携、防災訓練プログラムの評価、避難行動分析 ③消防・救急教育の効果測定および教材開発 → 職員教育や学生教育におけるカリキュラム評価、VRやシミュレーションを活用した教育法の開発と検証 ④VRを活用した災害医療・救急訓練の教育効果の検証 → 没入型学習の教育効果評価、VRコンテンツ開発とその活用法の検討 <p>これらのテーマを通じて、実践と教育の現場をつなぐ実証的な研究を進めています。特に、VRなどの最新技術を用いることで、従来の教育では困難だった実践的な学びや臨場感のある訓練を可能にし、より高い教育効果を目指しています。</p>
<p>★★★ 教授 増野 智彦 博士（医学）</p>	<p>研究分野：救急医学、外傷学、病院前救急医療システム、心肺蘇生、熱中症、災害医学</p> <p>研究内容のキーワード：ショック、蘇生、病態生理、病院前救急医療、災害対応、救急医療を通じた社会貢献</p> <p>病院前救急医療・救急外傷医療・災害医療の現状を分析し、抱える問題点を抽出するとともに、改善・解決のための方策を検討し、救急救命士の社会貢献、活躍の場の拡大につながる研究を行う。博士課程では研究目的達成に向け、詳細な文献検索、実施可能な研究立案、研究計画の策定・実施、研究結果の分析および評価を行い、研究結果の社会への発表により、より良い救急医療の実践に寄与する。主に以下の領域のテーマにつき研究する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①病院前救急医療に必要な知識・手技の効果的な教育・訓練方法 ②効果的な病院前救急活動、処置拡大 ③ショック、心肺停止時の病態生理および効果的な処置 ④熱中症の病態生理、予防・対処方法の社会啓発 ⑤スポーツ施設、マスコギャザリング会場での効果的な救護 ⑥災害時に効果的活動を行うための教育・準備 ⑦救急救命士の職務・職域の拡大

教員名	研究指導領域
★★ 准教授 山田 真吏奈 博士（医学）	研究分野：医歯薬学、教育工学
	研究内容のキーワード：神経炎症、免疫異常、免疫老化
	災害や救急の現場で発症する重篤な疾患を対象に、免疫の暴走が脳や臓器にどのような影響を及ぼすのか、特に、加齢に伴う変化に焦点を当てています。
	主な研究領域 ①熱中症・敗血症の病態生理 ②免疫異常と神経障害のメカニズム ③加齢と免疫老化 免疫や神経の仕組みに興味がある方、基礎から臨床応用まで幅広く学びたい方を歓迎します。

[博士後期課程] 研究指導教員一覧表(研究指導補助教員を含む)

(教員資格欄) 指導 - 研究指導教員

(補助) - 研究指導補助教員

市街局番 ・東京(03) ・横浜(045)

	教員資格	氏名	フリガナ	東京・世田谷キャンパス 電話番号	横浜・健志台キャンパス 電話番号	メールアドレス
あ	(補助)	阿藤 聡	アヲ サトル		507-7829	ato.s@nittai.ac.jp
か	指導	鴻崎 香里奈	コウザキ カリナ		507-7820	kouzaki@nittai.ac.jp
	指導	小林 正利	コバヤシ マサトシ	5706-1251		m-kobayashi@nittai.ac.jp
さ	指導	鈴木 健介	スズキ ケンスケ		479-6278	k-suzuki@nittai.ac.jp
な	指導	中里 浩一	ナカザト コウイチ	5706-0821	507-1644	nakazato@nittai.ac.jp
	(補助)	中澤 真弓	ナカザワ マユミ		507-7294	nakazawamayumi@nittai.ac.jp
	(補助)	成川 憲司	ナリカワ ケンジ		507-7826	kenji.narikawa@nittai.ac.jp
は	指導	橋本 典生	ハシモト ミツオ	5706-0862		mitsuo-hashimoto@nittai.ac.jp
	(補助)	原田 諭	ハラダ サトシ		507-7281	satoshi.harada@nittai.ac.jp
ま	指導	増野 智彦	マスノ トモヒコ		507-7691	masuno@nittai.ac.jp
や	指導	山田 真吏奈	ヤマダ マリナ		507-7620	myamada58@nittai.ac.jp

Web出願の流れ



入学検定料支払い前であれば、正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
必要書類※は、準備に時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データ、各選抜毎の提出書類など



STEP

2

Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/nittai-net/>

または、

大学ホームページ ▶ <https://www.nittai.ac.jp/>

からアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



① 初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



② メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④ 登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥ 初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦ 表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧ 個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。

Web出願サイトによる登録だけでは出願完了となりません。必ず支払期限までに入学検定料を支払い、必要書類提出期限までに特定記録・速達郵便にて送付してください。必要書類が本学で受理された時点で出願完了となります。必要書類提出期限までに届かない必要書類はいかなる理由でも受け付けません。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進みませんので**ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②大学・大学院区分の選択



③選抜区分選択と留意事項の
確認



④志望学部等の選択



⑤顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑥個人情報(氏名・住所等)の
入力



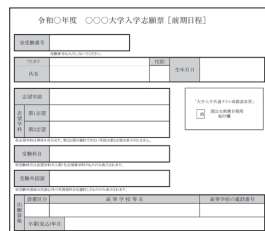
⑦出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)
確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1** ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードまたはネットバンキングを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



Webで手続き完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

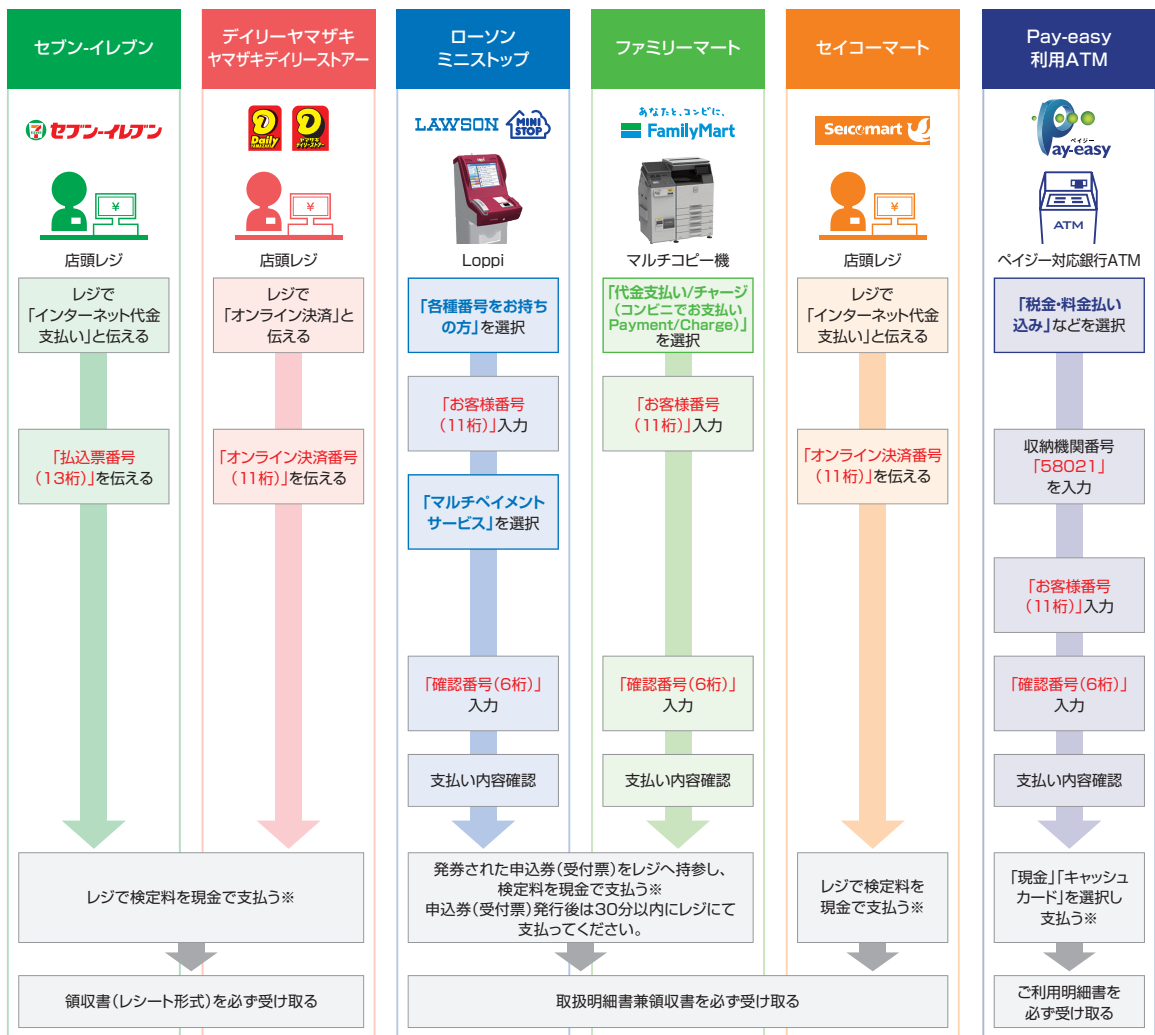


※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

4 銀行ATM



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

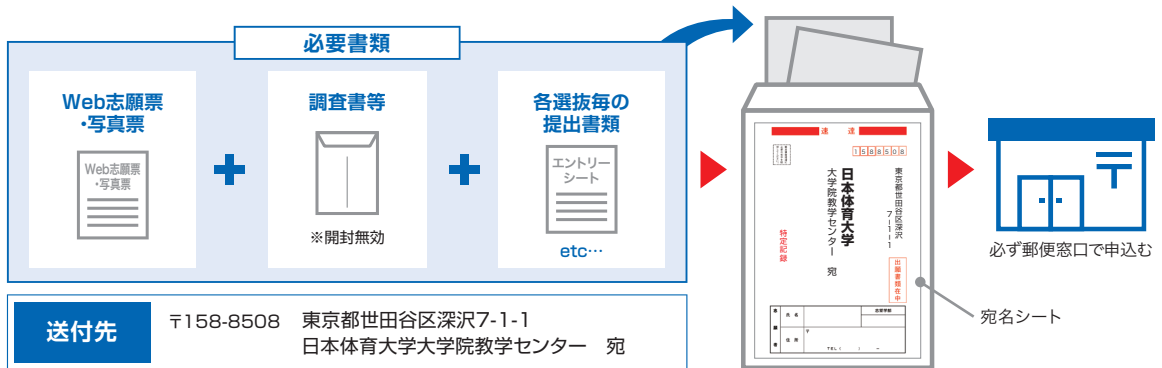
STEP

6

必要書類の郵送

Web出願登録・入学検定料支払いを行っただけでは出願は完了していませんので注意してください。

登録完了画面または確認メールに記載されている必要書類を、出願期間内に郵便局窓口から「速達・特定記録郵便」で郵送してください。（出願期間内消印有効）



■ 出願書類

出願書類に関しては以下の表を確認してください。

必要書類	必要部数	内容
① Web志願票・写真票	各1	入学検定料支払後、出力可能となります。 A4サイズで印刷し、切り取り線に沿って切り取ってください。
② 各選抜毎の提出書類	1	詳細は、各選抜の提出書類を確認してください。

※ 出願受理した必要書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日23時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで（営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります）、必要書類の郵送は出願期間内消印有効です。

STEP

7

受験票の印刷

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間受付終了後から試験3日前までに一斉に受験票を配信します。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください（※郵送はいたしません）。

※ 受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。



《出願写真に関する注意事項》

適切な写真例



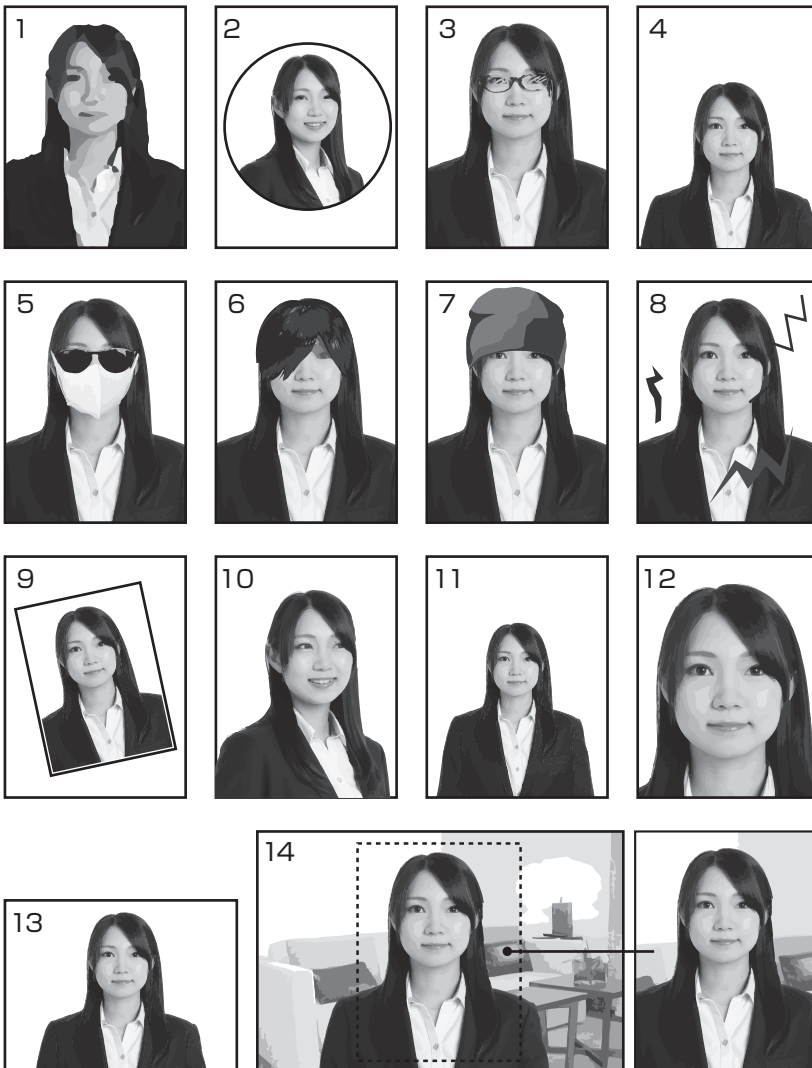
縦 4 cm

横 3 cm

■ 写真の規定

- 写真サイズは縦 4 cm × 横 3 cm
- カラー写真、白黒写真いずれも可とします
- 出願前 3ヶ月以内に撮影したもの
- 背景は無地(白・青・グレー)に限ります
- 正面を向いた本人の顔がはっきり確認できるもの
- 上半身で脱帽、頭部全体が写っている
- 所定用紙(受験票・写真表・志願表)に貼付する写真は、全て同一の写真を貼付してください

下記項目に該当する場合は受付できませんのでご注意ください。



■ 受付できない写真例

- 1, 被写体が不鮮明(画像が荒い)
 - 2, スナップ写真・SNS・ブログ等から流用した写真
 - 3, 眼鏡のレンズに光が反射している
 - 4, 頭上の余白部分が多い
 - 5, サングラスやマスクをしている
 - 6, 前髪や前髪の影で目を隠し、顔が確認できない
 - 7, ヘアバンドや帽子で頭髪を覆っている
 - 8, 変色していたり、キズや汚れがある
 - 9, 証明写真を再撮影したもの
 - 10, 被写体が正面を向いていない
 - 11, 被写体が小さい
 - 12, 被写体が大きすぎて写真からはみ出している
 - 13, 写真サイズが横に長い
 - 14, 背景に家具等が写っている
- ※ 該当する場合は必ず撮り直してください。